

9月号の主な記事

夢キタ万博2025.....4面
北区のバラ名前募集.....5面

認知症サポーター養成講座.....6面
親子の絆づくりプログラム.....7面

保育施設の入所申込を開始します.....8面
市立小・中学校選択制.....8面

大阪ウィーク～秋～に北区の子どもたちが出演!

詳細は
大阪ウィークHP▶



認知症を「自分ごと」に チームで支え地域で暮らす

2・3面に高齢者福祉特集



「RSほんじょう」のメンバーと
北区ハートフルオレンジチームの皆さん

認知症かも?と思ったら
1人で悩まず
ご相談ください!

北区ハートフル
オレンジチーム

☎06-4977-6444



北区の
「ちーむオレンジ」
の一覧はこちら▶

発足して約3年。毎朝、団地周
辺を掃除しながら地域の見守りを
続けてきました。困った様子の高
齢者を見かけて、認知症支援の専
門職につないだことも。メンバー
で企画を提案し合い、2か月に1
回程度、イベントも開催していま
す。

本庄東の団地を拠点に活動する
「RSほんじょう」が開いた健康
教室を訪ねました。高齢者から小
学生まで幅広い年代が参加し、地
域の方々の交流の場となっていま
す。

毎朝の掃除と見守り

認知症になっても自分らしく、
できることをしながら住み慣れた
地域で暮らしたい。そんな思
いを育み、支える場として「ちー
むオレンジ」が誕生し、地域の掃
除や見守り、喫茶、男性限定の
ワークショップなど12チームが
北区内で活動中です。認知症の人
が運営側に加わることもあり、当
事者の反応などを踏まえて、工夫
しながら運営を進めています。認
知症に自分ごととして向き合う
「新しい認知症観」という考え方
が昨年、政府からも示されました。
認知症の人にもそうでない人も安心
して暮らせる地域をめざします。

「ちーむオレンジ」 12チームが活動中

医療・介護・福祉の専門職から
なる北区ハートフルオレンジチ
ームの津田愛さんは、認知症の方も
安心して参加でき、共に役割をも
って活動する「ちーむオレンジ」
を増やしていきたいと考えていま
す。「認知症になっても誰もが地
域で暮らすには、身近に頼れる存
在や、居心地のいい場所があるこ
とが必要です。やってみたいとい
う思いをかなえるために、どうす
ればできるかを共に考えて活動
する。役割や生きがいを感じら
れるつながりが大切だと感じてい
ます」

居場所と役割があれば

デイサービスで長くボランティア
をしていた西方千晶さんは、チ
ームの立ち上げメンバー。「イベ
ントは初めての人の出会うきっか
けになります。次に会った時に挨拶
できるつながりを作っていました
い」と話し、教室の後、「また来
てね」と参加者に声を掛けました。
同じく当初から活動する濱野年美
さんも、「同じ地域に住む者同士、
ちょっとした事でも助け合ってい
けたらいいですね」。



認知症サポーター
キャラバンの
マスコットキャラクター
「ロバ隊長」



国勢調査 2025

国勢調査2025
総合サイトはこちら▶



令和7年10月1日に国勢調査が実施されます。(詳細は7面へ)

国勢調査2025

検索